

この国の未来のために、 免震をもっと広めたい。

建物が免震構造であれば、大地震がきても建物のゆれは、より小さくゆつくりとなり、建物の損壊や家財などの転倒を抑えます。ブリヂストンは「免震ゴム」の国内トップメーカー。海外でも多くの実績があります。「免震ゴム」はこれからも世界の人々の安全と快適な生活を支えてまいります。*（自社調べ）

「免震ゴム」をご存知ですか——
建物は、建物を堅く強くして地震のゆれに耐える耐震構造が一般的です。しかし、最近では地震のゆれを受け流し、ゆつくりゆれる免震構造が増えてきています。「免震ゴム」は免震構造で使われる、地震の振動エネルギー（ゆれ）を吸収する部材です。



ブリヂストンの「免震ゴム」は、
安心と安全を支え続けます。



ブリヂストンは「免震ゴム」の性能を皆様に体験いただくために「免震体験車」をご用意いたしました。免震・制震・耐震のそれぞれゆれ方をご体験いただけます。免震体験車や派遣などのお問い合わせは、下記までお願いいたします。



ブリヂストンの免震について
詳しくは **コチラ**

めんしんチャンネル
Menshin Channel

めんしんチャンネル 

<http://www.menshin-channel.com>

BRIDGESTONE

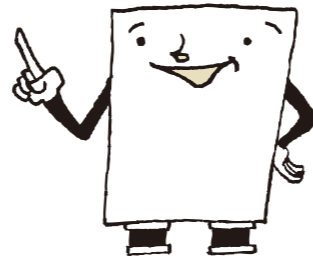
あなたと、つぎの景色へ

今まであきらめていた
低層建物でも
免震構造にできる。

低層
With
免震



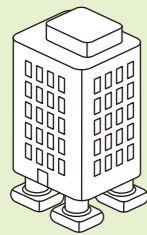
低層建物免震への ブリヂストンのこだわり



免震構造は優れた地震対策の一つとして、日本全国のみならず海外でも採用されて参りました。ところが、低層建物に合わせた柔らかな免震ゴムが無く、低層建物を免震構造にする為には、設計や建築に多大な工数とコストが必要とされていました。

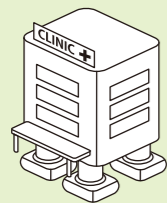
低層の建物でも手軽に免震にしたい…このような声をたくさん頂き、ブリヂストンは低層建物用の免震ゴムの開発に着手。低層建物に合わせて免震化しやすいように柔らかく、建物をしっかり支え、地震時には変形してゆれを低減する免震ゴムの製品化を実現することができました。

Q なぜ免震にするのか？



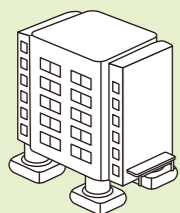
庁舎・ オフィス

地震が起きた時こそ、災害復旧拠点としての役割が重要となる庁舎や消防署。また、従業員の安全と設備保全を担保しなければならないオフィス。今後も日本各地での地震が予測される中、免震構造の採用が増えています。



医療機関

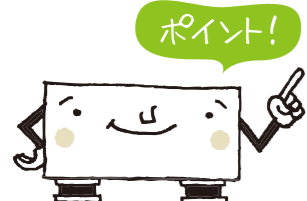
免震構造は、大地震時に建物の損傷を抑え、安全な医療体制の確保や医療機器の転倒防止など、病院機能への影響を少なくします。MCP(医療継続計画)の重要性が認識されるにつれ、免震構造を採用する医療機関が増えています。



集合住宅

マンション購入時に重視する項目として「建物の地震対策」が上位に挙げられます。東日本大震災以降「安全性」がよりクローズアップされ、住まいがより安全な場所であることが求められています。免震構造が身の安全と建物の資産価値を支えます。

※5階以下の建物で、かつ1つの柱に掛かる荷重が240トン以下である建物を想定しています。



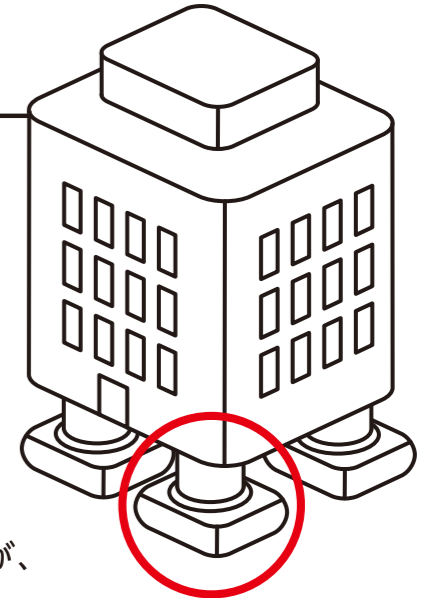
免震構造にすることで、建設コストがあがるのでは?と心配される方がいらっしゃいます。確かに初期の建設コストは上がるかもしれませんが、免震構造の建物は地震によってダメージを受けにくいので、長期的なメンテナンスコストは有利になると考えられます。また、地震保険の割引率が非常に大きいメリットもあります。何より「地震が来ても安心」という気持ちのゆとりが、入居者の方に喜ばれています。

X3Rの特長



免震装置には3つの機能が求められます。

- A 支持機能** …常に建物の重量を支えます。
- B ばね機能 (復元機能)** …水平方向に柔軟に変形・復元します。
- C 減衰機能** …水平方向のゆれを小さくし、かつ収束させます。



これらの機能を併せ持ち、低層建物用に開発したのが、
低層建物用免震ゴム **X3R** です。

これまでの低層建物の免震装置には
複数の建築部材が必要でした。

低層建物用免震ゴム「X3R」には
3つの機能を備えています。

免震に必要な機能	これまでの低層建物の免震装置	X3R
A 支持機能	<p>免震ゴム + すべり支承</p>	<p>3つの機能をもった免震ゴム史上もっとも柔らかい! (2014年12月現在、当社調べ)</p>
B ばね機能 (復元機能)	<p>免震ゴム</p>	<p>ゴムが揺れを小さくするよ!</p>
C 減衰機能	<p>ダンパー</p>	<p>減衰機能も備えているよ!</p>

※建物の設計諸条件により、すべり支承やダンパーが必要になる場合もございます。

■ **割引制度** ※詳しくは、各損害保険会社の相談窓口または代理店にご相談ください。

割引制度の種類	割引の説明	保険料の割引率
免震建築物割引 (ご契約開始日が平成19年10月1日以降)	対象物件が、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく「免震建築物」である場合	50%

出典:財務省HP「地震保険制度の概要」より